

図書名：「夜のピクニック」 著者：恩田 陸

出版社：新潮文庫

住所広島県三次市君田町東入君 1036 番地 2 Tel (0824) 53-2008

三次市君田中学校 第 2 学年 <氏名>野吹 優花

この本は、私に人と人との関わり：人間関係や人と人の絆について考えさせてくれました。同じ高校に通う異母兄弟の甲田貴子と西脇融は同級生でクラスも同じ。二人はお互いに距離をおいて行動しているため、学級で一度も会話をしたことがない。しかし、心の中ではいつも相手のことを考えて過ごしていた。私が一番心を射抜かれたところは、歩行祭という行事で、貴子と融の二人で歩いている時、自分たちが異母兄弟であることやこれからどうしていくのか等の会話をするところです。さらに、誰にも話したくなかった融の本音に驚きました。融の態度から想像できない本音でした。それは、融の「憎んでたのは、この状況だと思う。こんな状況におかれている自分の立場に対して腹を立てた。」という言葉です。自分なら相手の方を憎むけど、融は自分に腹を立てているところが凄いと思いました。複雑な家庭事情を乗り越えていく二人の強さに感動しました。また、二人には信頼できるしっかり者の友達がいること。最後の二人きりの会話ができるように仕組んでくれたのはそんな友達でした。本当に二人のことを深く理解している友だからできたことだと思いました。

私は、この本を通して、もう一度自分の家族や友達との関係について見直すことができました。そして、これからも大切にしていこうと思いました。